

Amy in Iwakura

The difference between Japanese
and Mongolian schools

日本とモンゴルの学校の違い

皆さん、こんにちは！今年の冬はいかがでしたか。やっぱり日本のインフルエンザは怖いですね。春も花粉症がひどくなるので、皆さんお大事にしてくださいね。特に小学校の子どもたちは、外で遊ぶことが多いのですぐに風邪をひいてしまいます。

さて、私が市内の全ての小中学校で国際理解の授業をしてもうすぐ2年になります。この2年間に気が付いた、日本とモンゴルの学校の違いを紹介したいと思います。

最初に日本の学校のマナーの素晴らしさです。モンゴルの学校にはない教室のルールや、学校で守らなければならないマナーがあります。例えば、給食を自分で準備することは自立した大人になるために非常に良い練習になると思います。それに対し、モンゴルは学問と芸術的才能の両方に集中しているため、日本のようなマナーを学ぶことは多くありません。日本のように生活全般を学ぶような取り組みがあると良いと思います。

昔のモンゴルの公立学校では、ロシア語の勉強が必要でしたが、今は英語中心になっています。日本も英語を重要としていますね。ロシア語とモンゴル語の文字は同じだにご存知でしょうか。しかし、言語の意味と使い方は全く違います。母国語以外を学ぶことは大変ですが、他の国の人と話せる楽しみがあります。日本とモンゴルの子どもたちにはいろいろな国の言葉を取得して世界に羽ばたいてほしいと思います。

毎年3月には、岩倉市にモンゴルの新留学生が合宿のために訪れます。市民の皆さんと交流しながら「クリーンアップ五条川」など、さまざまな活動を行います。毎年築いている日本とモンゴルの交流は本当に素晴らしいですね。これからもお互いの良いところを子どもたちに伝えていきたいと思います。



岩倉市国際交流員
トブウドルジ・エンフナラン
(エイミー)